

.....編集後記.....

◆編集者は新聞の切り抜きを長く続けていますが、昨年前半の場合地球環境問題関係のファイルのみが異常に厚くなりました。一方、ブラジル地球サミット以後その厚さはあまり増えていません。

◆地球環境問題、とくに地球温暖化の問題は将来人類の上に重くのしかかって来そうな気配です。ところが、最近の新聞等による報道ではかつての地球環境ブームは過ぎ去った感じがします。

◆そのような環境の下で、今回は地球温暖化抑制策の一つとして最近注目されているCO₂の地中貯留を特集しました。昨年11月開催の第218回地質調査所研究発表会(本特集と同一テーマ)の発表者と進藤勇治氏らからなるCO₂地中処理検討会の方々へ原稿の執筆をお願いしました。

◆奥村晃史氏からは釧路沖地震災害、八木健三氏からは地球サミットとNGOの活動、服部 仁氏からは英国の連載記事をそれぞれ頂きました。

◆地球環境問題では、地球システムの科学的側面への貢献が地質学に携わる人達に大いに期待されています。CO₂の地中貯留という技術面に重点のおかれた本特集号が、読者の皆様に参考になればと願っています。

副委員長 磯部一洋 記

原稿募集中!

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース編集委員会

委員長: 佐藤壮郎

副委員長: 佐藤興平・磯部一洋

幹事: 宮崎光旗・奥村公男

委員: 柴田 賢・滝沢文教・岡村行信・村岡洋文・

渡部芳夫・井内美郎・金沢康夫・佐藤岱生

事務局: 総務部業務課広報係(山口秀樹・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース

第462号 1993年2月号
定価 ¥ 770 千 実費

1993年2月1日 発行

編集

発行人

発行人

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段南4の2の12
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)

振替口座 東京1-32466

麹町局私書箱第21号

印刷

小宮山印刷工業株式会社

©1993 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。